

1 基本項目	事務事業名	蜃気楼ネットワーク事業				担当部署	課等名	埋没林博物館	
	予算事業名	蜃気楼ネットワーク事業					係名	管理係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-22-1049	
	事業期間	開始年度	平成15年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり				項	社会教育費	
		施策名	施策30. 生涯学習の推進				目	埋没林博物館費	
		基本事業名	基本事業30-3. 博物館の充実				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連あり(評価対象)		
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(協働)				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	市の観光資源の1つである「蜃気楼」に関する情報の集約、情報交流、発生メカニズムの解明、一般市民への知識の普及を目指す事業	
	対象	蜃気楼に何らかのつながりを持つ人、情報及び魚津市民	
	手段(活動指標)	蜃気楼交流会の開催、交流会記録誌の発行 日本蜃気楼協議会と連携した講演会の開催	
	意図(成果指標)	蜃気楼に関する人、情報等の交流を促進し、魚津市民には郷土の地域資源としての蜃気楼に関する理解を深める。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 研究発表件数	件	7	7	10	9	90.0%	10	
	② 記録誌配付件数	件	100	100	100	100	100.0%	100	
	成果	① 研究発表会聴講者	人	35	36	50	27	54.0%	50
		② 講演会参加者	人	34	56	50	32	64.0%	50

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
事業費	事業費合計 (A)	円	154,240	203,040	62,000	55,415	-72.7%	62,000	
	財源内訳	①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	154,240	203,040	62,000	55,415	-72.7%	62,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	4	33.3%	3	
	②年間所要時間	時間	540	540	540	500	-7.4%	375	
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	2,174,580	2,174,580	2,174,580	2,013,500	-7.4%	1,510,125	
総費用(A+B)	円	2,328,820	2,377,620	2,236,580	2,068,915	-13.0%	1,572,125		

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○日本蜃気楼協議会と連携し第14回蜃気楼交流会(特別講演会、研究発表会)を開催した。 ○特別講演会、研究発表会の内容を記録した「第14回蜃気楼交流会記録誌」を発行・配布した。</p>	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性
②目的の妥当性						1 妥当である
③対象の妥当性						1 妥当である
有効性	有効性	A	B	突発的要因あるいは目標値の設定見込が甘い	①目標達成度	3 低い・未実施
					②類似事業の有無	1 なし
					③上位施策への貢献度	1 高い
効率性	効率性	A	A	特に問題なし	①コスト効率	1 高い
					②実施主体の適正化	1 適正である
					③負担割合の適正化	1 適正である
1次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	<p>○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止</p>	方針の説明等	内外に大々的に発信するシンポジウムの開催等の実施を引き続き検討する。	2次評価	

1 基本項目	事務事業名	埋没林博物館展示事業				担当部署	課等名	埋没林博物館	
	予算事業名	調査研究・展示事業					係名	管理係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-22-1049	
	事業期間	開始年度	平成4年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり				項	社会教育費	
		施策名	施策30. 生涯学習の推進				目	埋没林博物館費	
		基本事業名	基本事業30-3. 博物館の充実				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	調査研究の成果をもとに展示を発案・作成し、知識や情報を親しみやすい形で市民及び博物館利用者に提供する。	
	対象	常設展示・企画展示内容及び展示物、魚津市民及び入館者	
	手段(活動指標)	企画展等を実施	
	意図(成果指標)	展示を企画・製作し、利用者の観覧に供する。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 展示企画開催件数	件	3	3	4	3	75.0%	4
	② 企画展開催日数	日	331	302	272	207	76.1%	279
成果	① 企画展示期間入館者数	人	36,955	30,351	35,000	25,437	72.7%	40,000
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	161,403	501,143	462,000	290,923	-41.9%	376,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	161,403	501,143	462,000	290,923	-41.9%	376,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	4	33.3%	4
	②年間所要時間	時間	660	660	660	700	6.1%	525
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	2,657,820	2,657,820	2,657,820	2,818,900	6.1%	2,114,175
総費用(A+B)	円	2,819,223	3,158,963	3,119,820	3,109,823	-1.6%	2,490,175	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○「蜃気楼写真展」(5/1~6/30)の企画、開催</p> <p>○ミニ企画展「植樹祭の木々」(5/1~6/30)の企画・製作・開催</p> <p>○「川原の石ころ展」(8/1~11/30)の企画、製作、開催</p> <p>○「魚津ナチュラルギャラリー18」(H30.4月から実施)の企画、製作</p> <p>○県東部主要河川の岩石実物展示等、教育効果を高めた。</p>	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	
有効性	A	B	突発的要因あるいは目標値の設定見込が甘い	②目的の妥当性	1 妥当である		
効率性	A	A	特に問題なし	③対象の妥当性	1 妥当である		
				①目標達成度	3 低い・未実施		
				②類似事業の有無	1 なし		
結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	③上位施策への貢献度	1 高い		
				①コスト効率	1 高い		
				②実施主体の適正化	1 適正である		
1次評価	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等 博物館機能と観光資源としての魅力向上のため、更なる展示等の充実を図りたい。また、スタッフの育成や人材確保に引き続き努めたい。	③負担割合の適正化	1 適正である		
				2次評価	不要		

1 基本項目	事務事業名	ジオパーク普及事業				担当部署	課等名	埋没林博物館
	予算事業名	ジオパーク普及事業					係名	管理係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-22-1049
	事業期間	開始年度	平成27年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標 1. にぎわい・活力あるまち				款	教育費
	計画	政策名	政策05. 交流と連携によるにぎわい創出				項	社会教育費
		施策名	施策10. 多様な交流の推進				目	埋没林博物館費
		基本事業名	基本事業10-1. 体験・滞在型交流の推進				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
		根拠法令					総合戦略との関連	関連なし
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(協働)				集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	世界ジオパークを目指す立山黒部ジオパークの拠点施設として、ジオパーク活動の周知や地域のジオ資源の再発見等の普及を図る。						
	対象	市民、博物館利用者						
	手段(活動指標)	普及講座の実施、マップの作成・発行、立山黒部ジオパークとの連携						
	意図(成果指標)	普及講座参加者数、立山黒部ジオパークとの協力事業数						

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 普及講座開催回数	回	5	4	4	4	100.0%	4
	② マップ発行数	部	6,000	9,000	9,000	0	0.0%	9,000
成果	① 普及講座延べ参加者数	人	75	37	80	34	42.5%	80
	② 立山黒部ジオパークとの協力事業数	件	3	2	2	2	100.0%	2

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円		1,339,610	781,000	211,837	-84.2%	711,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円		16,900	40,000	17,000	0.6%	40,000
人件費	⑤一般財源	円		1,322,710	741,000	194,837	-85.3%	671,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	4	33.3%	3
	②年間所要時間	時間	1,500	1,500	1,500	700	-53.3%	525
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	6,040,500	6,040,500	6,040,500	2,818,900	-53.3%	2,114,175
総費用(A+B)	円		7,380,110	6,821,500	3,030,737	-58.9%	2,825,175	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等						
	○ジオパーク普及講座の開催 ○魚津のジオめぐりマップの製作・発行						

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	②目的の妥当性
有効性	B	B	突発的要因あるいは目標値の設定見込が甘い	③対象の妥当性	1 妥当である	①目標達成度	3 低い・未実施	
効率性	A	A	特に問題なし	②類似事業の有無	1 なし	③上位施策への貢献度	1 高い	
1 次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2 次評価	①コスト効率	1 高い	
						②実施主体の適正化	1 適正である	
今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	世界ジオパークを目指す立山黒部ジオパークの拠点施設として、ジオパーク活動の周知や地域のジオ資源の再発見等の普及を図る。	③負担割合の適正化	1 適正である	不要		

1 基本項目	事務事業名	埋没林博物館交流拠点整備事業				担当部署	課等名	埋没林博物館	
	予算事業名	埋没林博物館交流拠点整備事業					係名	管理係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-22-1049	
	事業期間	開始年度	平成29年度	終了年度	平成29年度	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標 1. にぎわい・活力あるまち				款	教育費	
		政策名	政策05. 交流と連携によるにぎわい創出				項	社会教育費	
		施策名	施策09. 観光の振興				目	埋没林博物館	
		基本事業名	基本事業09-1. 観光資源のブランド力向上と整備				総合計画主な事業	記載なし	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連あり(評価対象)		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	魚津埋没林博物館に蜃気楼の見えるデッキテラスや木育キッズスペース等を備え、魚津特産のフルーツを活用したスイーツを提供するカフェを整備する。また、蜃気楼ライブ映像配信システムを整備することにより、観光客をはじめ地元の方にも親しまれる施設を目指す。
	対象	博物館施設
	手段(活動指標)	カフェ・木育キッズスペース・授乳室・海側からの出入口の整備、ライブカメラシステムの稼働
	意図(成果指標)	県内外からの入館者が増加し、博物館及び周辺地域に賑わいが生まれる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① カフェ・木育キッズスペース等の完成率	%			100	100	100.0%		
	② ライブカメラ完成率	%			100	100	100.0%		
	成果	① 有料エリアへの入館者数	人	40,465	35,084	31,500	31,750	100.8%	38,663
		② 年間パスポートのべ利用者数	人			0	0		200

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
事業費	事業費合計 (A)	円			69,289,000	68,075,574		0	
	財源内訳	①国庫支出金	円			29,450,000	29,212,500		
		②県支出金	円						
		③地方債	円			26,500,000	26,200,000		
		④その他(使用料、雑入等)	円						
⑤一般財源		円			13,339,000	12,663,074			
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人			0	4			
	②年間所要時間	時間			0	3,000			
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円			0	12,081,000			
総費用(A+B)	円			69,289,000	80,156,574				

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ○カフェ運営事業者の選定 ○設計業者の選定(プロポーザル) ○改修工事の実施(都市計画課委託) ○ライブカメラシステム導入 ○厨房機器等備品整備 ○広報活動(チラシ配布等) ○内見会の開催 	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性				A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1
② 目的の妥当性				1			妥当である	
③ 対象の妥当性				1			妥当である	
有効性			A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	① 目標達成度	2	目標どおり	
					② 類似事業の有無	1	なし	
					③ 上位施策への貢献度	1	高い	
効率性			A	特に問題なし	① コスト効率	1	高い	
					② 実施主体の適正化	1	適正である	
					③ 負担割合の適正化	1	適正である	
1次評価	結果(課長総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当	不要			
	今後の方針	現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	単年度の交付金事業である拠点整備は平成29年度で完了したが、成果については引き続き検証していかなければならない。	2次評価			